

サイエンスる

次世代有機ELを開発した九州大教授

安達

千波矢さん

④

安達千波矢さんが普段研

雰囲気だ。

奮闘している。

究している場所は、九州大最先端有機光エレクトロニクス研究センター(福岡市)。ガラスが多用された建物では、大きな窓から実験の様子も見え、開放的な向上させ、実際に製品に見えるようになることが課題だ。

安達さんが作った第3世代有機ELを使ったディスプレー
(2012年12月、東京都千代田区)



米国では、実用化を進め
るベンチャー企業に優秀な人材が集まつ
ていた。日本でもできるは
ずだと、来年3月までのベ
ンチャー設立を目指し、安
達さんは日々

安達さんは「有機物は、分子構造が違えば、別の人間のように違う。だから面白い」と話す。分子の設計方法は無限にあり、今まで開けているのは、さまざま

可能性のほんの一部だとい
う。究極の目標として「生
物が営む複雑なシステム
を、有機物を使って人工的に再現させたい」と話す。
(おわり)